

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年12月22日（月）

2 確認箇所

- ・ブルータンクエリアD（図1）

3 確認項目

- ・横置き型タンクの仮置き・保管状況

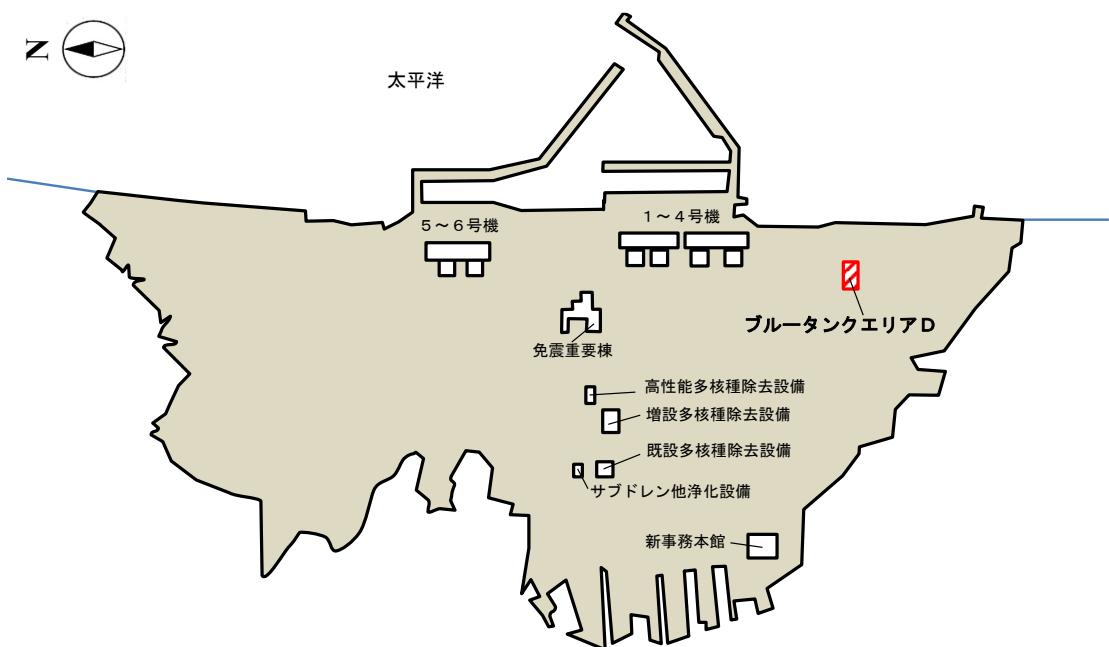
4 確認結果の概要

（1）横置き型タンクの仮置き・保管状況

横置き型タンクの発電所構内での仮置きは、ブルータンクエリアAからDの4か所に分けて実施されている。各仮置き場所では、タンクは金属及びベルトにより台座に固縛されている。加えて、柵の設置及び立入禁止の掲示により立入が制限されるとともに、ネットによる被覆等の対策が施されている。これらの対策の実施状況について、県では、以前から継続して定期的に現地確認を行っている。

本年2月のタンク除染・解体設備の試験中に定検用機材倉庫Bにおいて生じた火災により、東京電力による横置き型タンクの解体は当初の計画より遅れる見込みとなつたが、東京電力によると来年1月中にはタンクの解体作業を再開予定であるとのことであった。これらの状況から、今回は、仮置き箇所のうちブルータンクエリアDにおけるタンクの保管状況について確認した。（前回確認：令和7年7月11日）

- ・前回確認時と同様に、横置き型タンクは、固縛帶（ベルト）により固定され、ネットにより覆われていた。また、ブルータンクエリアDの周囲は、単管パイプにより囲われていた。（写真1）
- ・保管された横置き型タンクの一部において、表面の塗装が剥離していたものの、確認した範囲では、剥離した塗装のネット外部への飛散は認められなかった。（写真2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) ブルータンクエリアDにおける横置き型タンクの固定状況



(写真1②) 横置き型タンク表面の塗装の状況 (ネット網による剥離防止)



(写真2①) ブルータンクエリアDにおけるタンク固定資材の整理状況



(写真2②) ブルータンクエリアDにおけるエリア区画状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。